

資料2 新機能要件一覧

図書館システムの新機能として以下の機能について将来的に導入を検討している。実現の可否を費用も含め提案すること。導入可能である場合は、見積書に含めること。

1. 学校図書館連携システム

1. 1 現状

- ①市内西地区の小学校、中学校図書館は電算化されていない。(一部電算化済み)
- ②市内東地区の小学校、中学校図書館は電算化され、「ほん太くん」というシステム導入済み。

1. 2 想定する学校図書館システム

- ①各学校図書館に配置されている端末で学校図書館システムを使用する。
- ②MARCは、現在は日本書店連盟MARCを使用している。
- ③将来的には公共図書館と同じTRC-MARC(学校図書館用)又はJAPAN-MARCを使用予定。
- ④児童、生徒へ貸出、返却、督促処理ができること。
- ⑤利用者検索、資料検索、予約ができること。
- ⑥書誌登録、除籍など、資料の目録整理ができること。
- ⑦図書原簿、除籍簿等、目録台帳が出せること。
- ⑧貸出者数、貸出冊数、予約件数など統計データが抽出できること。

2. スマートフォンによる図書館利用者番号バーコード表示

キャッシュレス化が進み、持ち歩くカードや現金を極力減らしたいという近年の市民の生活様式の変化に対応し、スマートフォンに利用者番号をバーコード化して表示する機能を追加すること。

3. マイページ(仮称)機能

- ①マイページ(仮称)で、貸出状況、予約状況の他に、利用者が登録できる資料リスト機能(仮称:マイ本棚)を提供すること。
- ②利用者はこの資料リストに貸出中の資料や今度読みたい本などを登録できること。
- ③資料リストには、利用者が自由に資料を登録できること。
- ④資料の予約画面で予約ボタンと同様に「今度借りたい本」というボタンを表示し、予約と同様のプロセスで資料リストに本を登録することができること。
- ⑤資料リストから予約を行うことができること。
- ⑥業務端末から利用者の資料リストを閲覧できないこと。
- ⑦利用者は自由に資料リストから資料を削除できること。
- ⑧利用者は資料リストをCSV等の形式でダウンロードできること。

4. 電子的図書館システム連携機能

令和2年度、利用者に電子書籍の貸出を行う電子図書館システムを導入する予定としている。また、郷土資料のデジタル化を進める予定としていることから、それらの電子的図書館システムとの連携機能について提案すること。